

令和3年度 学校図書館評価シート

足立区立千寿双葉小学校 校長 三宅 文夫

1 学校図書館の現状（今年度末）										
蔵書状況	① 蔵書数 11,638 冊（蔵書基準冊数9,560冊）／ 蔵書率 121%									
	② 新規購入図書 484 冊 / 廃棄図書 122 冊 / 増減冊数 362 冊									
分類	総記0類	哲学1類	歴史2類	社会3類	自然4類	技術5類	産業6類	芸術7類	言語8類	文学9類
蔵書構成割合	1%	1%	6%	7%	13%	4%	2%	7%	3%	57%
*国基準	6%	3%	16%	10%	16%	6%	5%	8%	5%	25%
利活用の状況	① 開館時間：授業時、中休み、昼休み（前年度からの変更あり）									
	② 児童一人あたりの年間平均貸出冊数 43.18 冊（前年度：49.10 冊）									
	③ 1か月に2冊以上読む児童 83.1%（前年度：86.3%）									
2 学校図書館基本計画「学校図書館の目標・ねらい」の達成状況（今年度総括）										
① 新型コロナウイルスの分散登校や、感染対策の影響により、開館日数は減ったが、読書活動の推進により貸し出し冊数が増え、読書習慣が身に付き読書に親しむ児童が増えた										
② 昨年度に比べて、調べる学習コンクールに参加する児童が増え、学校図書館の図書や資料を効果的に活用しようとする力を身に付けることができた。										
3 今年度の重点指導事項・具体的取り組み、及び成果目標の達成状況										
第1学年	① 易しい読み物に興味をもち、楽しんで読書しようとする態度を育てる。									
	② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用する態度を育てる。									
今年度の成果目標						達成基準				
① 学校図書館を使う授業により、本を手取る機会が増える。 ② 学校図書館の本を利用し、読書をする経験を重ねる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について知る。						① 各クラス月1回以上、読書等の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり10冊以上の本を読む。 ③ 学校図書館オリエンテーションを実施した学級100%				
目標達成状況										
① 全クラス達成することができた。 ② 年間で一人あたり10冊以上の本を読むことができた児童は100%。 ③ 学校図書オリエンテーションを全クラス実施した。										
第2学年	① 易しい読み物に興味を持ち、楽しんで読書しようとする意欲を育てる。									
	② 学校図書館の利用の仕方を知り、きまりを守って利用しようとする態度を育てる。									
今年度の成果目標						達成基準				
① 自分の興味のある本を探して、読書することができる。 ② 図鑑や科学的な読み物について読書し、その内容を友達に伝えることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。						① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり10冊以上の本を読む。				
目標達成状況										
① 全クラス達成することができた。 ④ 年間で一人あたり10冊以上の本を読むことができた児童は100%。										

第3学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、進んで学校図書館を利用する態度を養い、資料や情報を集めて活用できる力を育てる。
今年度の成果目標	達成基準
① 野球に興味のある児童が、他のスポーツの本にも親しむ等、自分の興味のある本だけでなく、それに関連する本についても読書する意欲を育てる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり20冊以上の本を読む。 ③ 1か月に2冊以上借りた児童の割合が80%以上。
目標達成状況	
① 全クラス達成することができた。 ② 年間で一人あたり20冊以上の本を読んだ児童は100%。 ③ 1か月に2冊以上借りた児童は100%。	
第4学年	① いろいろな読み物に興味を持ち、幅広く読書しようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、多様な資料や情報を収集・活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 自分の興味のある本だけでなく、今まで興味のなかった本についても読書することができる。 ② 辞典や図鑑等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方を守りながら、読書することができる。	① 各クラス月2回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 読書旬間を利用して、年間一人あたり20冊以上の本を読む。 ③ 1か月に2冊以上借りた児童の割合が80%以上。
目標達成状況	
① 全クラス達成することができた。 ② 年間で一人あたり20冊以上の本を読んだ児童は98%。 ③ 1か月に2冊以上借りた児童は100%	
第5学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする意欲を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標	達成基準
① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめることができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考えることができる。	① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり20冊以上の本を読む。 ③ 1か月に2冊以上借りた児童の割合が80%以上。
目標達成状況	
① 全クラス達成することができた。 ② 年間で一人あたり20冊以上の本を読んだ児童は61%。 ③ 1か月に2冊以上借りた児童は61%。	

第6学年	① 適切な読み物を選び、読書を通して考えを広めたり深めたりしようとする態度を育てる。 ② きまりを守り、学校図書館を進んで利用する態度を養い、計画的に資料や情報を収集し、適切に活用することができるようにする。
今年度の成果目標 ① 興味のある事柄について、適切な本や新聞等を選び、読書することができる。 ② 複数の本や新聞等から分かったことをまとめ、説明することができる。 ③ 学校図書館の利用の仕方について、より利用しやすい方法について考え、友達に伝えることができる。	達成基準 ① 各クラス月1回以上、読書や探究活動の授業を学校図書館で行う。 ② 年間一人あたり20冊以上の本を読む。 ③ 1か月に2冊以上借りた児童の割合が80%以上。
目標達成状況 ① 全クラス達成できた。 ② 年間で一人あたり20冊以上の本を読んだ児童は43% ③ 1か月に2冊以上借りた児童は43%	

4 学校図書館環境整備に関する取り組み成果・効果

【蔵書・配架等に関すること】

- ① 月の行事に合わせておすすめの本の展示を行うなど、児童が本に興味をもってもらえるような工夫を行った。

【学校図書館支援員との連携・協働】

- ① 学級担任だけではなく、専科の教員も授業で使用する際の図書収集を支援員に依頼するなど、連携して授業の中で学校図書館の本を活用することができた。

【その他】

- ① 本以外にも、読売子ども新聞を掲示した。おすすめの記事を紹介することで、児童が関心をもち、読んでいる姿が多く見られた。

5 学校図書館運営に関する全体評価（自己評価）

図書担当教諭と学校図書館支援員が連携を取りながら、読書活動の推進に取り組んだ。また、図書委員会の児童と読書週間の2週間に読み聞かせやおすすめの本紹介を行い、校内に読書の楽しさを伝えた。

その成果として、児童の年間貸し出し冊数が増え、読書に親しむ児童の数が昨年度よりも増えた。また、調べる学習コンクールへの参加者数も増え、学校図書館を活用して、探究活動を進め、自分の考えを表現する力を育成することができた。

6 学校図書館の取り組みに対する評価・要望等（外部評価）

7 今後の展望 一課題や問題点への改善・対応方針を踏まえて一

ブックトーク等、支援員の積極的な連携・協働に取り組む。調べ学習をはじめ、授業に必要な教材や資料について積極的に支援員への相談や情報交換を行い、学校図書館支援員やボランティアとの連携を深め、明るく楽しい学校図書館づくりを実践する。

読書が習慣化していない児童も一定数いるため、児童の興味を引くような図書室の展示に取り組む。また、1日の生活日課の中で、5分間の読書の時間を全校児童で取り組むことで、読書に親しむ機会を増やし、読書習慣を身に付けさせたい。